

令和元年度 事務事業総点検シート(1)  
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類		詳細点検	
事務事業名 結核対策特別促進事業		シート番号		A 一般事務事業	
担当部署名 健康福祉 局 保健部 保健所 部 感染症対策 課		評価責任者(課長名)		中井	

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	市民の命を守る健康・医療体制の強化	無
	2	事業開始年度	昭和 26 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	結核は、かつて国民病と言われるほど患者数も多く、また不治の病と恐れられていた。治療薬の普及、栄養・衛生状態の改善などにより患者数は激減したが、未だに国内で毎年約17,000人の結核患者が新たに発生し、毎年約2,300人の人が結核で亡くなっている。地域における結核のまん延を防止するためには、結核患者への服薬支援による再発防止・多剤耐性結核の予防や結核ハイリスク者層への結核検診の実施などの対策が重要である。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	全市民				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	・結核の再発・多剤耐性結核を予防するためDOTS事業による確実な治療の推進を図る。 ・結核り患の多い高齢者等に対する結核予防事業を実施し、あわせて啓発を行うことで高齢者の結核り患率を低下させる。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	・DOTS支援員(訪問看護師、協力薬局など)による服薬支援(DOTS)の実施。 ・ハイリスク者(高齢者など)に対する結核検診や啓発の実施。 ※DOTS…(Directly Observed Treatment Short Course)直接監視下服薬短期療法。 患者の服薬を医療従事者が直接確認し、服薬を支援する治療方法。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 一般社団法人 堺市薬剤師会					

Ⅲ. 投入量

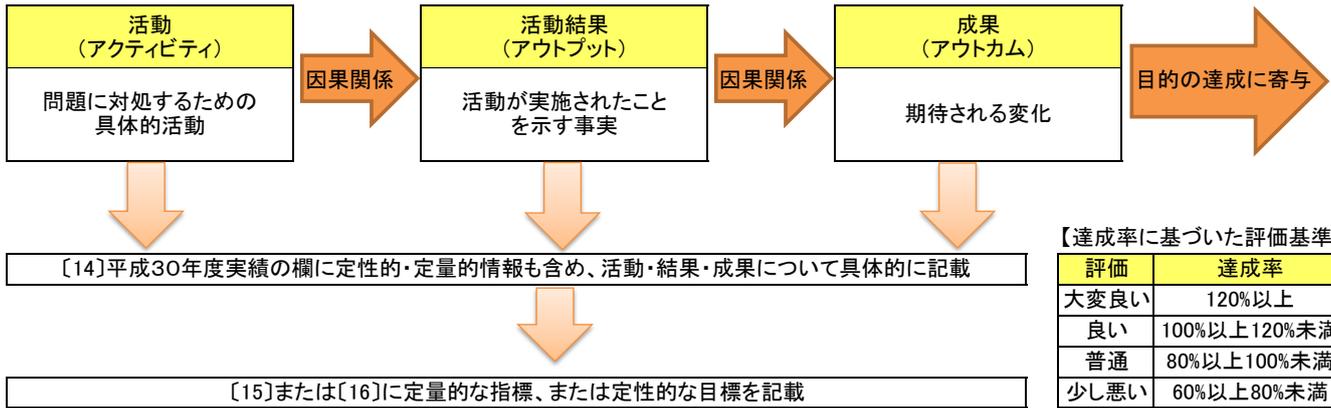
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	4,501	5,317	5,184	7,026	
	主な事業費内訳	報償費	千円	891	758	771	1,396
		委託料	千円	484	507	518	1,250
		その他(需用費等)	千円	907	981	806	1,140
		報酬	千円	3,071	3,071	3,089	3,240
	財源内訳	国・府支出金	千円	4,071	4,138	4,124	6,238
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他( )	千円				
	12 人件費 (b)	千円	19,311	18,251	18,440	19,050	
	13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	23,812	23,568	23,624	26,076	

# 令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	結核対策特別促進事業	シート番号	11-236
-------	------------	-------	--------

## Ⅳ. 評価(測定・分析)

### ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

### 事業の活動内容や成果

平成30年度実績							
活動実績と成果	14	<p>DOTS事業については、協力薬局・協力医療機関・協力看護師による委託実施と保健師・看護師等による直接実施により運用している。実施機関の選択には対象者の治療状況や利便性なども考慮して決定しており、治療完遂に向けて適切な実施機関を選択している。また、結核の治療やDOTS事業については対象者の周囲の人々の理解も重要であるため、高齢者施設等への研修会や情報提供を実施し、DOTS事業への理解を求めた。(研修会参加者数68名)</p> <p>治療終了後も定期病状調査として治療終了者(自己中断等も含む)に対して、病状の確認を行っている。(H30年度:246名)</p> <p>結核り患の高い高齢者等に対する結核予防事業としてシルバー人材センター会員登録者向けに胸部エックス線検査を実施した。検診実施までに、シルバー人材センター会員向け広報や会員同士の会議の場などにおいて啓発や健康教育を実施した。また検診の結果、要精密検査や要経過観察と判定された方に対し、検診後のフォローと受診勧奨を行った。</p> <p>市内医療機関向けに堺市結核研修(堺市結核指定医療機関講習会)を実施した。結核専門病院の医師を講師として招請し、結核の診断方法をはじめとした情報提供を実施した。(研修参加者数53名)</p>					
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	全患者に対するDOTS実施率	目標値	%	-	95	95	95
		実績値	%	98	100	98	
		達成率	%	-	105%	103%	
		評価		-	良い	良い	
	算出方法・設定根拠など		前年の新登録患者に対するDOTS実施率				
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	排菌患者の治療完遂率	目標値	%	100	100	100	100
		実績値	%	100	98	98	
		達成率	%	100%	98%	98%	
		評価		良い	普通	普通	
	算出方法・設定根拠など		前年の新登録排菌患者のうち治療完遂者÷治療終了者(治療中の死亡・転出を除く)				

### 業績の分析

17	<p>目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>全患者に対するDOTS実施率は目標を達成できた。全結核患者に対し対面で服薬治療の重要性を説明し、結核精度管理研修会も毎年度実施することで、DOTSに対する理解率も年々上昇している。(研修参加者68名中DOTSを知っていた割合:42%) 排菌患者の治療完遂率については薬剤による副作用のため治療を中止した例が1例あり、目標を下回った。排菌患者に対して面接により、服薬治療の重要性を説明するとともに病院とも連携して、患者に即した対応を行っている。</p> <p>高齢者等に対する結核予防事業についてはシルバー人材センター会員登録者向けに実施した胸部エックス線検査において、平成30年度は受検者全130名中結核患者は発見されなかったが、検診の重要性を啓発するとともに肺がん・結核検診を周知することができた。</p> <p>結核指定医療機関講習会については、研修参加者52名中73%が「大変参考となった」残る27%で「参考となった」とのアンケート結果を得ており、結核の知識普及に寄与できた。</p>
----	---

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。